

兵庫県のカミキリムシ研究史(4)

高橋 壽郎

- 1980、北山 昭・渡辺一雄。兵庫県鉢伏山におけるヒメビロウドカミキリの採集例。
月刊むし (109) : 37-38.
養父郡関宮町鉢伏山頂附近 (標高1220m)。
- 1980、高橋 匡。但馬地方昆虫目録 (予報第3報)。
IRATSUME (4) : 13-27.
但馬地方のカミキリムシ7亜科200種を記録している。
- 1980、高橋寿郎。兵庫県における *Olenecamptus* 属カミキリムシ3種の分布について。
てんとうむし (6) : 1-4.
表題のごとく兵庫県産白いカミキリムシ3種の分布について解説した。
- 1980、黒田 収。アカジマトラカミキリ (*Anglyptus bellus* Matsushita et Matsumura) 多数採集す。
てんとうむし (6) : 24.
氷ノ山縦走登山道における採集記録である。
- 1980、黒田 収。佐用町でモンクロベニカミキリを採集。
てんとうむし (6) : 31.
- 1980、山地 治。赤西渓谷 (兵庫県) のカミキリムシ3種の記録。
すずむし (117) : 21.
クビジロカミキリ、キボシチビカミキリ、ホソヒゲケブカカミキリ。
- 1980、三宅義一。コバヤズカミキリ類の分化と分布。
北九州の昆虫 27(2) : 61-84, pl.5, 6.
コバヤズカミキリ類の分類の再検討をされており、この中でダイセンコバヤズカミキリ *Parechthistatus gibber daisen* MIYAKE et TSUJI なる新亜種が記載されており、その副模式標本に県下多紀郡篠山、養父郡氷の山、美方郡扇ノ山、畑ヶ平産標本が多く示されている。
- 1981、小倉 滋。三木のカミキリムシ。
三木市自然研究同好会刊, B5, 280.
- 1981、上田尚志。家島群島の昆虫(2)。
きべりはむし 9(1) : 9-18.
甲虫類113種記録されている。カミキリムシ科は19種を記録している。
- 1981、小倉 滋。三木市産のカミキリ追加記録。
きべりはむし 9(1) : 26-27.
9種を記録している。
- 1981、小倉 滋。タケウチヒゲナカコバネ赤西にす。
きべりはむし 9(1) : 27.
- 1981、内藤親彦。フタスジカタビロハナカミキリ扇ノ山で採集。
きべりはむし 9(1) : 28.
- 1981、黒田 収。赤西渓谷でのシコクヒメコバハナカミキリ採集例。
きべりはむし (6) : 29.
- 1981、金田昌士。先山で淡路未記録のカミキリ2種。
PARNASSIUS (25) : 6.
先山からヒメリングガカミキリ、ハスオビヒゲナガカミキリの記録がある。
- 1981、磯野昌弘。但馬地方西部のカミキリムシ。
IRATSUME (5) : 28-35.
81種のカミキリムシの記録がある。
- 1982、高橋寿郎。神戸市立須磨区妙法寺地域の甲虫相。
兵庫生物 8(3) : 153-155.
表題のごとく須磨、妙法寺地域の甲虫相の概説をした。カミキリムシは12種を記録している。
- 1982、高橋寿郎。宍粟郡波賀町水谷の甲虫。
きべりはむし 10(1) : 37-41.
29科96種を記録、カミキリムシは15種記録した。
- 1982、加野 正。但馬におけるカミキリムシ採集目録。
IRATSUME (6) : 36-41.
4亜科45種の記録がある。

1982、黒田 収。氷の山周辺のカミキリ分布調査。

てんとうむし (8) : 153-166.

222種が記録されている。

1982、仲田元亮。増補改訂 能勢の昆虫。甲虫の部。上巻 A5.453p. 下巻 A5.508p. (自刊)。

今回記録された種は上巻で48科613種、下巻で45科699種計1312種となっている(内2種はシノニムで減少する)。大阪からのみという記録種を除くと1149種となる。カミキリムシは126種が記録されているが、これらは全部兵庫県に所属している地域の産とは限らない。

1984、川上仁之。伊丹市昆虫目録(1)。

伊丹の自然 (1) : 22-32.

伊丹市内の甲虫相として39科202種が記録されておりカミキリムシ科は13種記録されている。

1985、加野 正。但馬のカミキリムシ(Ⅱ)(Ⅲ)。

IRATSUME (8・9) : 130-139, 140-148.

但馬地方のカミキリムシ科65種の91種の記録がある。

1985、河上仁之。伊丹市昆虫目録(2)。

伊丹の自然 (2) : 27-32.

甲虫は9科16種記録されカミキリムシ科は2種を記録している。

1985、パシフィックコンサルタンツ(株)。(仮称) 押部谷パブリックゴルフクラブ建設事業動物調査報告書。

昆虫 p.18-43. 72科218種記録されており内カミキリムシ科は11種記録。昆虫調査但東 高橋寿郎・蜂谷幸雄。

1986、河上仁之。伊丹市昆虫目録(3)。

伊丹の自然 (3) : 21-26.

カミキリムシ科2種の記録がある。

1987、佐藤邦夫。但馬地方のカミキリムシ。

IRATSUME (11) : 72-90.

165種の記録を詳しく発表している。

1988、佐藤邦夫。但馬地方のカミキリムシ(Ⅱ)。

IRATSUME (12) : 24-30.

前報に続いて報告する。前報に報告した各種の新しい採集地とその採集年月日、追加すべき採集時の状況などがあつたもの67種を記録。さらに、前回報告の種に追加の3種が記録されている。

1988、岩田隆太郎。近々地方のカミキリ相。

Spec.Bull. Jpn.Soc. Coleopteral (3) : 38-43.

兵庫県のカミキリムシ相の概要をまとめてある。

1988、山地 治。中国地方のカミキリ相。

Spec.Bull. Jpn.Soc. Coleopteral (3) : 44-49.

中国産地のカミキリ相の説明なので当然氷の山が含まれている。

1989、高橋寿郎。ソボリンゴカミキリ 六甲山に多産。

きべりはむし 17(1) : 17.

1989、山崎敏文。生物部採集の記録。カミキリムシ科。

三木中学校生物部採集報告書 : 14-17.

21種記録主として宍粟郡赤西のもの多し、和名のみである。

1989、永幡善之。中学生の3年間に採集したカミキリムシ。釜域生物(三木高校生物部誌) No.1 : 5-17.

120種記録。主として三木市、赤西、氷の山などである。

1990、佐藤邦夫。但馬地方のカミキリムシ(Ⅲ)。

IRATSUME (13/14) : 41-43.

16種記録されている。

1990、新家 勝。武庫川の昆虫目録。

伊丹の自然 (8) : 1-15.

カミキリムシ科10種の記録がある。

1992、永幡善之。但馬のカミキリムシ '91。

因幡のむし(鳥取大学昆虫同好会) No.27 : 21-29.

77種記録されている(採集データ付き)。

1993、永幡善之。但馬のカミキリムシ '92。

IRATSUME (17) : 51-70.

1992年但馬で採集した162種のカミキリムシを記録している。

1993、高橋寿郎。東播磨の甲虫相(1)。

きべりはむし 21(2) : 37-43.

カミキリムシ科は95種記録出来ていると示してあるが、具体的に個々の種について解説はしていない。

1993、小田中 健ほか。宝塚の昆虫Ⅳ。

甲虫目(Ⅱ) B5, 168p. (宝塚市教育委員会刊)

宝塚のコメツキダマシ科~オサゾウムシ科までの38科461種が記録されている。各種ごとに写真で示され形態、

生態と詳しい産地の記録がある。カミキリムシ科はNo. 528~639の111種が記録されている。

1994、永幡善之。但馬のカミキリムシ1993。

IRATSUME (18) : 16-41.

1993年但馬で採集したカミキリムシ184種のデータを記録している。

1994、小田中 健。宝塚の昆虫 (補遺)。

宝塚の昆虫VII : 337-370.

宝塚の甲虫は宝塚の昆虫II、IVに記録された806種がまとめられていたが、今回その補遺として78種が追加されている。カミキリムシ科はヒナルリカミキリ、アカアシオオアオカミキリ、マルクビケマダラカミキリ、シロオビチビヒラタカミキリ、ヒメシラオビカミキリの5種が追加されている。

1994、高橋壽郎。淡路島の甲虫相。

PARNASSIUS (40) : 1-6.

淡路島に産するカミキリムシは93種として若干の種について解説を試みた。

1994、高橋壽郎。西播磨の甲虫相。

兵庫生物 10(5) : 179-181.

西播磨地域に棲息する注目すべき甲虫類として具体的にカミキリムシ5種(トサヒメハナカミキリ、ヤマトヒメハナカミキリ、オダヒゲナガコバネカミキリ、コボトケヒゲナガコバネカミキリ、タケウチヒゲナガコバネカミキリについては種名を示して解説している。

1994、高橋壽郎。東播磨の甲虫相(2)。

きべりはむし 22(1) : 1-8.

東播磨地域に生息する注目すべき甲虫類としてケブカマルクビカミキリ、マルクビマダラカミキリの2種について解説している。

1994、高橋壽郎。六甲山系を中心として神戸並びにその近傍の甲虫相。きべりはむし 22(2) : 35-45.

六甲山系での産出種としてカミキリムシ科140種。その内チャゴマフカミキリ、マヤサンコブヤハズカミキリ、セダコブヤハズカミキリ、オオシロカミキリ、タカサゴシロカミキリ、シロチビコブカミキリについては具体的な解説を加えた。

1994、建設省河川治水課監修、財団法人リバーフロント整備センタ編集。

平成4年度河川水辺の国勢調査年鑑。陸上甲虫類等調

査編。B5.1328pp。(山海堂・東京)

本書は平成4年度に国が直轄で管理している全国の109の1級河川のうち48水系で陸上昆虫類調査を実施した。今回平成4年度から平成5年度に調査が継続している河川を除く42水系について調査結果のとりまとめを行ったものである。

兵庫県からは猪名川・藻川、加古川、揖保川流域の調査が行われた。

猪名川・藻川流域。カミキリムシ科は4種記録あり普通に見られるものばかりである。加古川流域

カミキリムシ科は2種クロカミキリ、ゴマダラカミキリがあるだけである。

揖保川流域

カミキリムシ科は11種記録されている。いずれも普通に見られる種のみでサビカミキリ。ツシムムナクボカミキリはあまり多く見られない種である。

1995、(社)ひめじ花と緑の協会。ひめじの昆虫II。

姫路市の都市緑化課の依頼でまとめられたもので、執筆者の多くは姫路昆虫同好会のメンバーである。カミキリムシ科は12種。主に大形種とか一般になじみのものを中心に各種カラーで解説してある。データ等は何もない。

1995、高橋 匡。森の昆虫外観と特徴。

丹波の自然(丹波自然友の会編)、pp.133-138.

神戸新聞社総合出版センター刊。

水上郡昆虫目録を中心に重要な昆虫類の解説があり、具体的にカミキリムシの珍品についての概説もあり。

1995、林 匡夫。イツシキキモンカミキリ。

月間むし (294) : 1.

水の山の帰途(場所ははっきりと示されていないが)山麓の一見何もないような森の中の数本の高く伸びたクワの木にイツシキキモンカミキリが多くいるのに出会ったとの記録。

一般的にはあまり目にするのが少ないカミキリムシだけに貴重な記録である。

1995、藤富正昭。私版 淡路の昆虫リスト(2)。

Parnassus (42) : 1 : 5.

コンピュータに入れる淡路の昆虫のデータベースをつくる目的で、誘蛾灯(発生予察灯)調査台帳に記録した虫の名前と自分で淡路で採集した虫で同定の出来たものを合わせてまとめられたもので、鞘翅目はこの(2)にふくまれており、アイオウエ順に収録されている。カミキリムシは12種示されているが、どちらかといえば普通種の大形種が多いように思われた。産地は各種についてい

るがデータその他は無い。

1995、林 靖彦ほか。1983年度、雨石山に於ける甲虫相調査報告書。

KASUGA (11) : 20-21. (大阪昆虫同好会連絡誌)

多紀郡雨石山にて1年間鶏肉トラップで誘致した甲虫類を調べると同時に設置した雨石山での甲虫類をも調査したものをまとめたもので、48科433種が記録されている。兵庫県甲虫類として初記録と考えられるもの12科21種がある。カミキリムシ科は47種が記録されている。特に問題になるような種は見られていないが、もっと時間をかけて調べるとまだまだいそうである(この調査に参加したものは11名を数える)。

1995、M.TAKAUMA & N.OHBAYASHI. Notes on the Japanese Genus *Miccolamia* (Coleoptera, Cerambycidae), with Descriptions of Two New Species. Jpn.J. syst. Ent.1(2) : 193-200.

従来混同されていた日本産 *Miccolamia* 属 *Isomiccolamia* 亜属を3種に分類し、2新種を記載された。その内の *Miccolamia (Isomiccolamia) palurae* TAKAKUWA et N.OHBAYASHI の Paratypes の中に1♂, Hyonesen, Hyoge Pref. 5.V.1973. M. YUMA がふくまれている。筆者がかつて発表した(きべりはむし Vol.15, No.2, p.55, 1987) *Miccolamia tuberculata* PIC, 1918 シロチビコブカミキリも本種のことである(シノニム)。

1995、近藤伸一。モンクロベニカミキリの採集記録。

きべりはむし 23(2) : 28.

兵庫県下では記録の比較的小さい本種の赤穂市福浦からの記録である。

1995、花園 正。ヒゲジロホソコバナカミキリが5年間ミズナラより羽脱する。

遊蟲千年 (2) : 116.

氷の山奥谷よりミズナラの材を持ち帰った。その材から1990-1994の5年間に(1♂, 2♀, 11♂, 1♀, 6♂, 3♀, 2♂, 2♀, 1♂, 1♀)の計21♂, 9♀が羽脱したとの記録である。

1995、花園 正。タキグチモモフトホソカミキリ、ヒゲナガヒメルリカミキリ クロモジより羽化脱出。

遊蟲千年 (2) : 117.

宍粟郡波賀町赤西溪谷より持ち帰った。クロモジの枝より、あまり県下での記録のないタキグチモモフトホソカミキリ3頭、ヒゲナガヒメルリカミキリ3頭が羽化し

た。

1995、高橋壽郎。兵庫・神戸を原産地とする甲虫。

きべりはむし 23(1) 特別号 : 1-43 (ref. p.24-25, 40-41)。

兵庫・神戸を原産とするカミキリムシ25+4種を記録している。

1995、高橋壽郎。兵庫県甲虫相の変遷。

鳥と自然 (79) : 5-13.

兵庫・神戸を代表するカミキリムシとしてマヤサンコブヤズカミキリについて解説している。

1996、高橋壽郎。兵庫県のカミキリムシ研究史(2)。

兵庫生物 11(2) : 51-54.

1996、田中 稔。ムナクボハナカミキリの音水溪谷での記録。

きべりはむし 24(1) : 41.

1996、永橋善之。但馬のカミキリムシ第3報。

IRATSUME (20) : 46-55.

主として1994・1995年採集の但馬地方のカミキリムシ168種詳しいデータ付で発表している。

1996、佐藤邦夫。但馬のカミキリムシ(IV)。

IRATSUME (20) : 87-92.

1989年以降の採集による但馬地方のカミキリムシ106種の記録である。

1996、佐藤邦夫。IRATSUMEに採集記録が発表された但馬のカミキリムシ。

IRATSUME (20) : 83-109.

1996年迄に但馬地方で記録されたカミキリムシ227種を記録地と共に発表している。

以上1996年までに発表された兵庫県のカミキリムシについての文献より兵庫県カミキリムシ研究史をまとめてみた。

(兵庫県甲虫相資料・341)